



今月のお知らせ

社会教育センター 図書室
☎ 28・5449

休館

資料整理のため、7月31日(土)は、図書室をお休みします。

新刊

児童書

おやまでテント

ゆーちみえこ 作
(アリス館)



お兄ちゃんと、山男のお父ちゃんと一緒に、山に登ったなっちゃん。はじめてテントに泊まります。テントをはるのをお手伝いして、近くのげんこつ岩に登った帰り道、急に雨が降ってきて…。

一般書

なぜ秀吉は

門井 慶喜 著
(毎日新聞出版)



朝鮮出兵は歴史的快挙か、天下の愚策かー。わずか6年半だけの主都となった名護屋を舞台に繰り広げられた、天下人・秀吉の最期の仕事と人間ドラマを描く。

一般書

貴方のために綴る

18の物語

岡崎 琢磨 著
(祥伝社)



1日1話、ただ読むだけー。世にも奇妙な仕事を引き受けた美織は、毎日届けられる物語に次第に追い詰められていき…。最後に明かされる驚くべき真実とは？

一般書

非弁護人

月村 了衛 著
(徳間書店)



高度な法律関連事案の解決を請け負う元特捜検事・宗光彬ら。失踪した少女とその家族の行方を追ううちに、底辺の元ヤクザ達とその家族を食い物にする男の存在を知りー。

編集後記

コロナ禍で迎える2度目の夏がやってきた。新しい生活様式が実践される中、マスクの着用が生活の中ですっかり浸透している。商業施設や映画館など、人が集まるところではマスクの着用が求められるなど、マスクはなくてはならないものとなっている▼このような環境下で注意したいのが熱中症だ。マスクの中は熱がこもり熱中症のリスクが上がるといふ。こまめな水分補給を心がけるなど、熱中症対策を忘れないようにしていただきたい▼マスクによる影響はコミュニケーションにも及んでいる。顔の大部分が隠れ、表情が読み取りづらくなった。これまで当たり前だった「笑顔が見えづらくなり、マスク越しでのコミュニケーションの難しさを感じる」と共に、改めて笑顔の大切さを思い知らされている▼特集にも掲載したとおり、豊山町町制50周年記念事業ロゴマークが決定した。「50」の文字が青い空や緑、笑顔あふれるまをを表す、可愛らしいスマイルが特徴的なロゴマークだ。新型コロナウイルスが1日も早く収束し、町民の皆様が、このロゴマークのように、マスクを外し、豊山町の広く青い空の下、満面の笑みを見せることの出来る日が来ることを切に願う。このロゴマークは、配布物など様々な記念事業で活用していく。ロゴマークを見かけたら、豊山町の50周年と共に、笑顔の大切さも思い出してほしい。